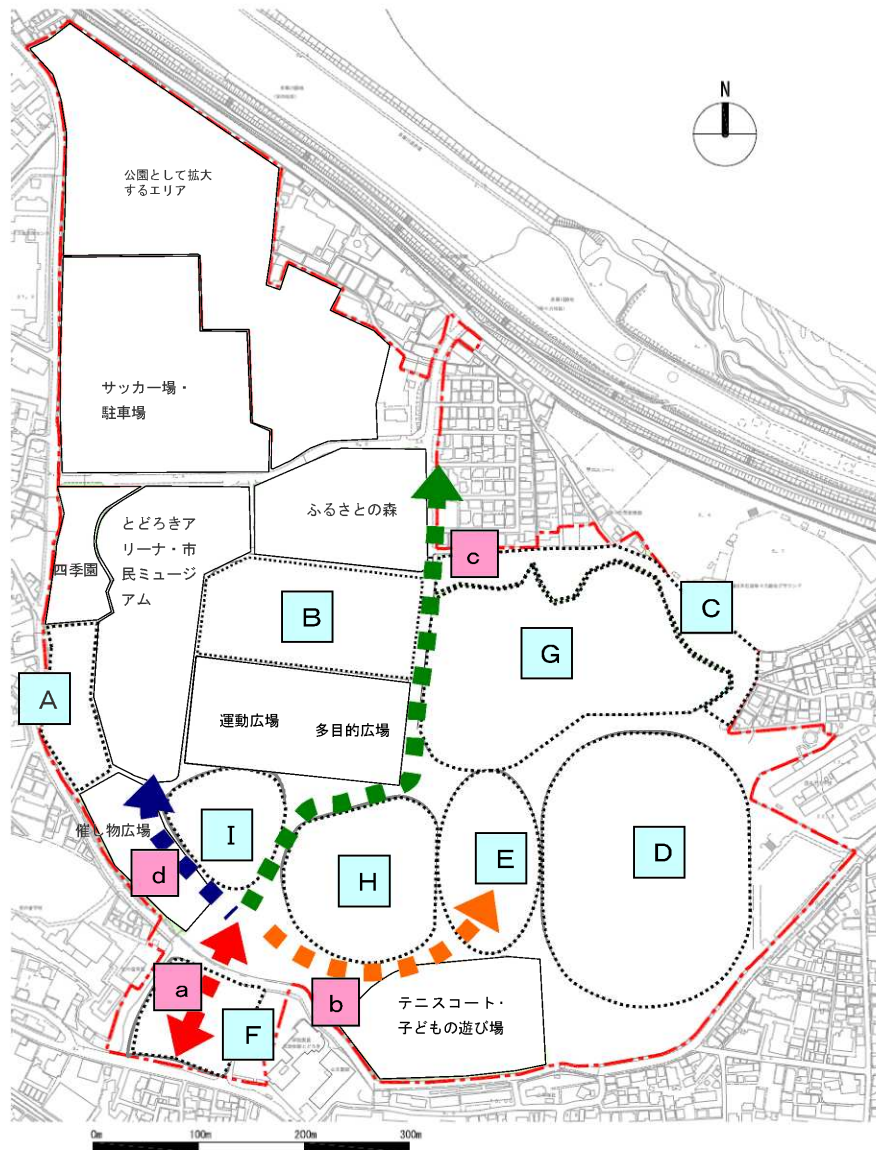


## 第2章 整備手順・スケジュール

### 1 整備手順

緑地内施設については、AからIまでの9つのゾーンに区分して、順次再編整備を進めるとともに、動線については、aからdの4つに区分し、順次整備を進めます。



ゾーン	ゾーン
A	21世紀の森
B	補助競技場
C	花の散策路
D	陸上競技場
E	広場
F	正面広場
G	釣池
H	硬式野球場
I	広場

#### 凡例

動線	動線
a	メインアプローチの動線
b	硬式野球場・陸上競技場への動線
c	多摩川への動線
d	とどろきアリーナへの動線

### (1) 先行整備期間の整備について

第3期実行計画期間中の平成23年度から25年度を「先行整備期間」として、**A**21世紀の森、**B**補助競技場、**C**花の散策路、**D**陸上競技場の整備、緑地へのアクセス改善を進めます。

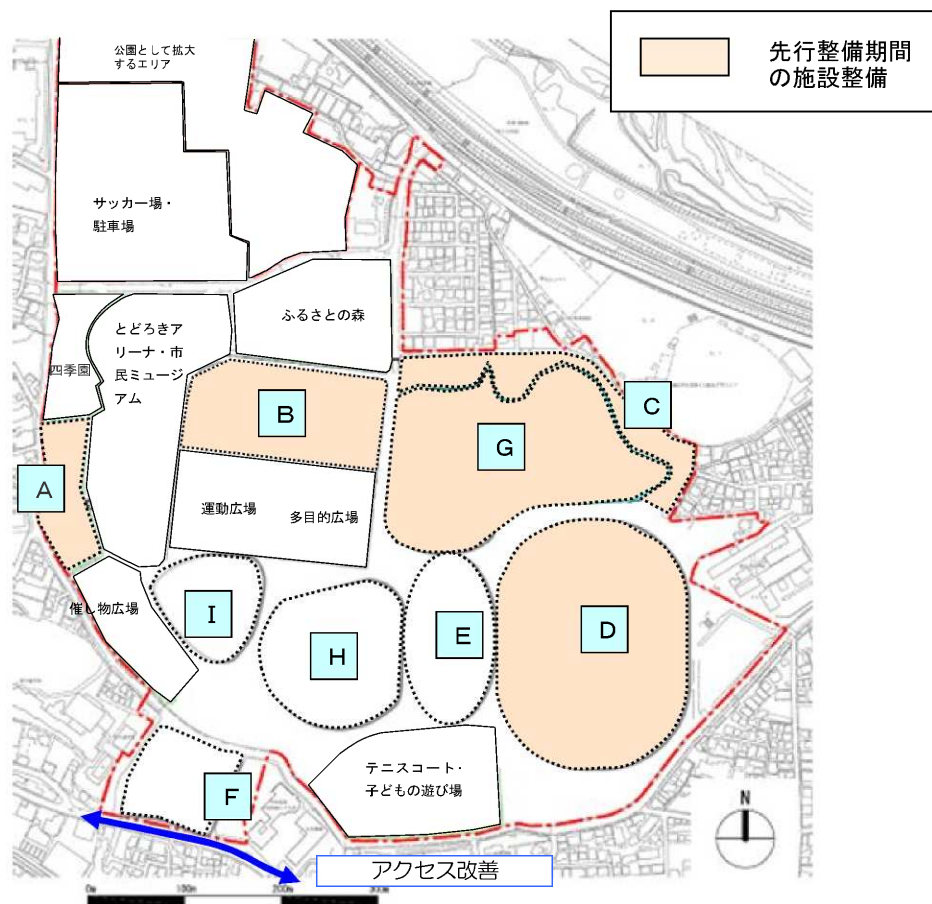
これまで進めてきたふるさとの森（平成20、21年度で整備）、四季園（平成22年度整備完了予定）の再整備に引き続き、21世紀の森の再整備、補助競技場の機能向上に着手、花の散策路の再整備に着手します。

また、大規模施設である硬式野球場と陸上競技場は、同時に工事を進めると工事の影響範囲が広範囲となりますので、時期をずらして整備を進めます。現位置で整備を進めることから、周囲への影響がより少ない陸上競技場から整備を進めた後、硬式野球場の整備を行います。

陸上競技場はスタンドへの屋根の架設、観客席やトイレの増設など観戦環境の改善、ウォーミングアップスペースやシャワー室の充実など競技者環境の改善、受電施設・設備の充実など運営機能の改善などを図るために、第1期工事としてメインスタンドの整備を進めます。

※**G**釣池について、浄化に向けた調査・検討を行います。

先行整備期間の整備イメージ図



## (2) 整備推進期間の整備について

平成26年度以降を「整備推進期間」とし、**D**陸上競技場、**E**広場、**F**正面広場、**G**釣池、**H**硬式野球場、**I**広場の整備と、施設の周辺と**a**から**d**緑地内動線の整備を進めるとともに、緑地へのアクセス改善を進めます。

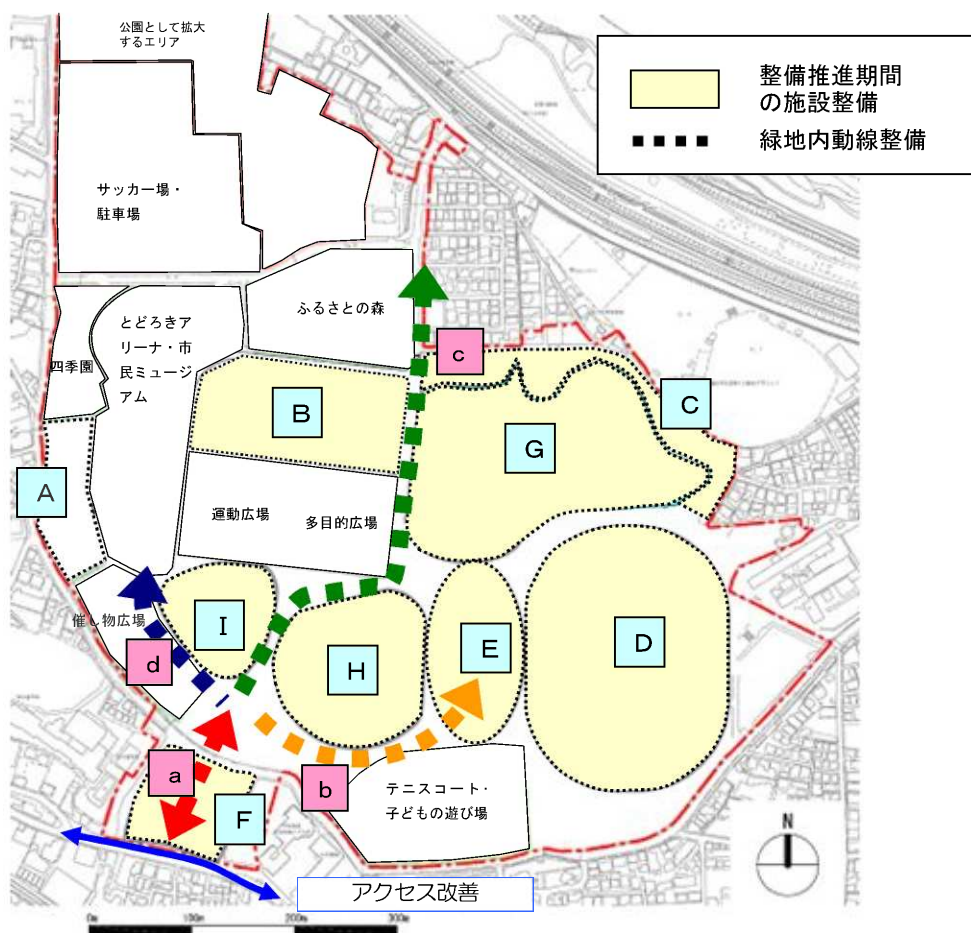
陸上競技場は、第2期整備工事としてサイドスタンド・バックスタンドの整備を進めます。

また、陸上競技場の整備に合わせ、周囲の動線、待機スペースを再整備します。収容人員を考慮した動線とメインスタンド前にまとまりのある広場を整備するとともに、正面広場、駐車場の整備を進めます。あわせて、釣池について水質改善を行い、親水空間として来園者にとって開放性の高い空間整備を進めます。

硬式野球場は、正面広場から多摩川への動線を整備するため、施設位置を南東方向へ移動させます。

硬式野球場の整備を進めるとともに、動線の整備と硬式野球場の西方向に催し物広場と一体利用も可能なまとまりのある広場を創出します。

整備推進期間の整備イメージ図

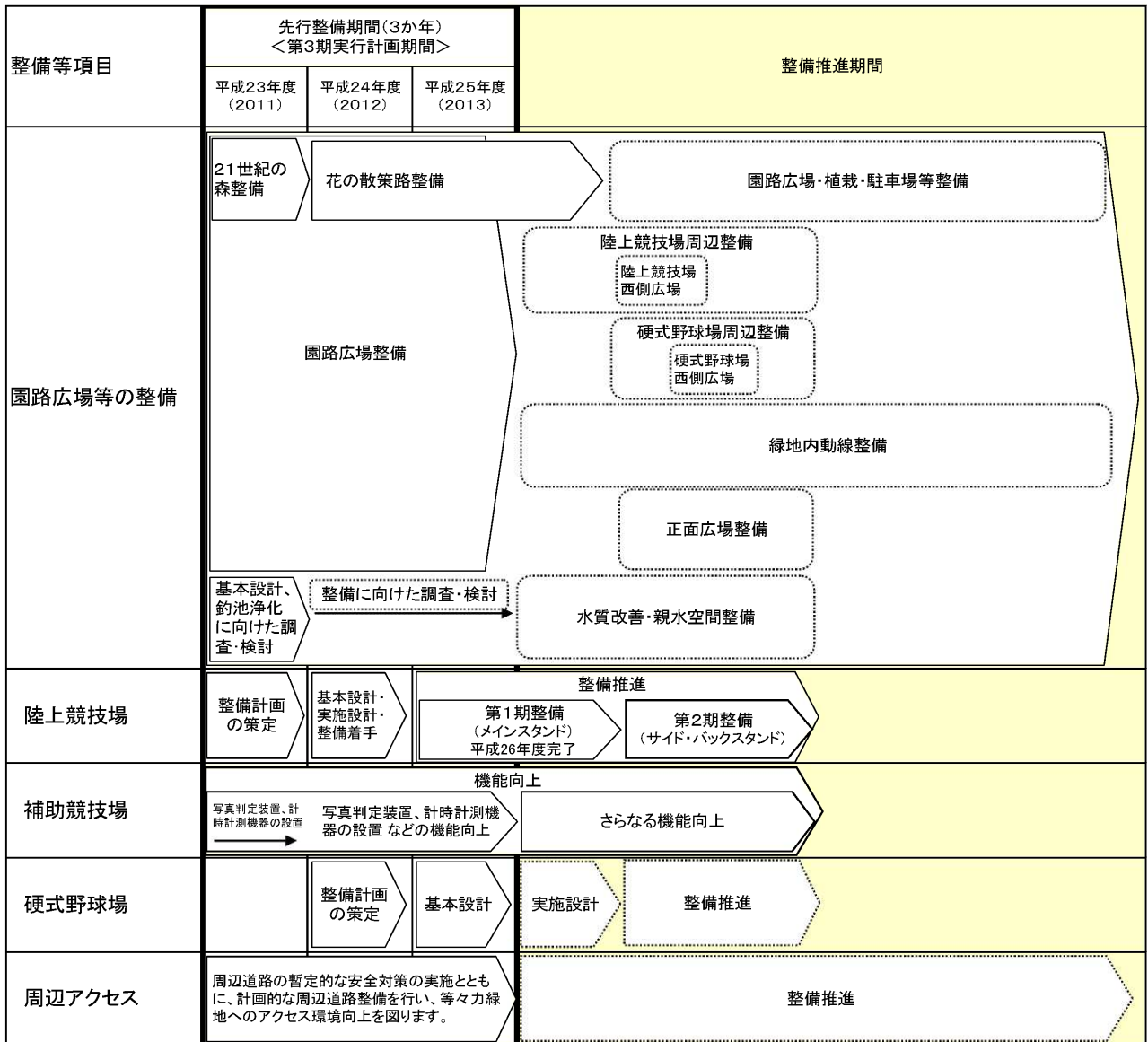


## 2 整備スケジュール

全体の整備スケジュールとしては、おおむね10年を想定し、第3期実行計画期間中の平成23年度から25年度を「先行整備期間」、平成26年度以降を「整備推進期間」とし「整備推進期間」の具体的なスケジュール等は実行計画の策定等と合わせて調整していきます。

再編整備にあたっては、財政負担の平準化、費用対効果の最適化を図るとともに、財源の確保に努め、既存施設の維持管理を行いながら、中期的な整備手順によって計画的に進めていきます。

### ■全体スケジュール



## 第3章 実施計画の実現に向けて

### 1 事業実施にあたって

等々力緑地には、硬式野球場、陸上競技場、テニスコート、サッカー場、プール等の運動施設をはじめ、国際規模のスポーツ大会、コンサート、式典に使用できるとどろきアリーナ、美術館と博物館の複合文化施設である市民ミュージアム、水車小屋や四季折々の自然を楽しめる四季園、ヘラブナ釣りなどを楽しめる釣池、区民祭をはじめ多目的に利用される催し物広場などがあり、立地条件がよいこともあり市内外から多くの皆さまに利用されています。

また、緑地内には、約83万本の樹木が植えられており、特に花見の時期には約600本のソメイヨシノが咲き乱れ、にぎわいをみせます。釣池をめぐる市民ミュージアムまでの小径は延長約1,000mの花の散策路として四季折々の草木や花木が楽しめます。

こうした緑地機能は、地域やボランティアの方々などによる、緑地内の清掃、除草などの自主的な活動によって支えられています。

今後の再編整備にあたっては、市民の方々と協働して進めるために、施設利用団体、競技関係団体、地域やボランティアの方々などと意見交換を行うとともに、再編整備の取組について、ホームページなどを通じ積極的に情報提供していきます。

なお、硬式野球場、陸上競技場については、会議なども通じて市民の方々、施設利用団体、競技関係団体等から意見を伺っていきます。また、陸上競技場の整備にあたっては、整備手法・工法・手順などについて民間事業者の協力も得ながら、「整備計画」をとりまとめます。

また、多様な市民意見を考慮し、限られた敷地の中で、さまざまな制約・諸条件を踏まえて再整備を進めるために、再編整備全体を見据えることのできる学識者等の助言や意見をいただくとともに、民間の知識・ノウハウや技術などの提案も積極的に活用しながら事業を推進します。

さらに、再編整備にあたっては、本市のイメージアップと施設の維持補修等の財源確保の視点からネーミングライツ等の導入を図るとともに、特に、維持補修による財政負担の大きい硬式野球場、陸上競技場については、長期・短期の修繕計画を策定するなどし、予防保全型の保守・修繕という視点から適切な維持管理に努めます。

## 2 さらなる魅力づくりに向けて

等々力緑地は、貴重な地域の資源ですので、多摩川などの自然環境や周辺のまちづくりと連携し、さらなる魅力・価値の向上をめざすとともに、等々力緑地を核として地域の魅力向上が図れるような取組を進めます。

また、こうした魅力を高める取組を進めるためにパークマネジメントも視野に入れ、市民、NPO、企業など多様な主体が等々力緑地づくりに関わることのできる仕組みづくり、横断的な運営・維持管理手法について検討していきます。

### (1) 周辺まちづくりとの連携

商店街や商店、医療施設、学校などと連携した、地域の魅力向上につながる取組について、施設整備検討の段階から関係者と調整を進めます。

また、多摩川や二ヶ領用水などの水を活かした活動や、中原街道などの歴史的資源を活かした街なみ景観づくりの活動、駅前空間や商店街におけるパンジー等の花の植栽などによる花を活かした街なみ景観づくりの活動など、住民が主体となったまちづくり活動と連携していきます。

### (2) 多様な主体の参加の推進

市民、NPO、企業等多様な主体の運営・維持管理など公園づくりへの参加を促進し、市民ニーズに沿ったより良いサービスの提供、緑地の魅力向上を図ります。

#### ア 市民参加・協働の推進

イベント、各種プログラムの企画・実施等の緑地の運営を通じて、より多くの市民の方々に公園づくりに参加していただくための仕組みについて検討を進めます。

#### イ 民間活力の導入

緑地の運営・維持管理にあたっては、公園の魅力・価値の向上をめざし、民間企業の持つ知識・ノウハウなどを活用するなど、民間活力の導入を検討します。

### (3) 横断的な運営・維持管理手法の検討

緑地内には多くの施設が立地しており、スポーツ、健康維持、交流、文化芸術などさまざまな機能を果たしていますので、個々の機能の充実を図り、相互に連携することで、等々力緑地全体でのサービス向上が期待できます。

パークマネジメントの手法の一つとして、緑地全体の横断的な運営・維持管理手法について検討し、施設間の連携強化や、限られた財源の中でより良いサービスを継続的に提供可能な公園づくりをめざします。

#### ※パークマネジメント

維持管理・運営管理などの従来の枠を超え、効率的・効率的な管理運営の視点から豊かな自然的環境を持続可能とするとともに、公園のサービス・価値を向上させることをめざして、市民・NPO・企業などと連携協議しながら総合的な視点に立って公園を運営していくこと。